

イベントカレンダー（9月～12月）

9月

8月31日（火） ～10月8日（金）	記念物100年パネル展示「ふじみ野市の遺跡と国指定史跡」	イオンタウンふじみ野
11日（土） ～9月20日（祝）	古い商家ではたおり体験 巡回平和展「戦争の記憶～戦時と平時の間で～」	福岡河岸記念館 大井郷土資料館
～9月22日（水）	最新出土品展	上福岡歴史民俗資料館
27日（月）～10月3日（日）	最新出土品展と旧大井村役場特別公開	旧大井村役場

10月

9日（土）	福岡河岸記念館 特別公開	福岡河岸記念館
23日（土）～12月5日（日）	星野仙蔵生誕150年記念特別展「資本主義の世界を拓く～ふじみ野の経済人たちと渋沢栄一のあゆみ～」	大井郷土資料館・福岡河岸記念館・上福岡歴史民俗資料館
23日（土）	落語会	福岡河岸記念館

11月

13日（土）	特別展記念講演会「鉄道と地域社会―ふじみ野の経済と経済人―」	大井郷土資料館
14日（日）【無料公開】	福岡河岸記念館 特別公開	福岡河岸記念館
20日（土）	小ほうきづくり体験	旧大井村役場

12月

11日（土）	福岡河岸記念館 特別公開	福岡河岸記念館
18日（土）	水引体験	旧大井村役場

*開催時間等、詳しくは市広報等でご確認ください。

*コロナウィルス感染拡大防止のため内容を変更して開催または中止する場合があります。

●文化財日誌（令和3年5月～7月）

- 5月7日 文化的景観研修参加（オンライン）
- 5月12日～7月14日 西原小学校文化財展示準備（毎週水曜日午後）
- 6月9日～7月7日 鶴ヶ岡外遺跡第7地点本調査
- 6月10日 東台小学校「ほうき出前授業（種まき）」
- 6月18日 人間東部地区文化財保護連絡協議会幹事会
- 6月30日 第1回文化財保護審議会
- 7月9日 旧江戸屋屋根補修工事入札
- 7月10日 はたおり体験（会場：福岡河岸記念館）
- 7月29日～8月12日 学芸員実習受入れ（5名）

市内の文化財・遺跡情報が満載 遺跡情報システム

遺跡情報、指定文化財、石造物、神社仏閣などの場所や情報を検索できます。

▼2021年7月アクセス数887件
（昨年比+50）



近場で楽しもう！文化財ガイド

市内の文化財、神社仏閣、文化財説明板などを紹介したガイドマップです。





ふじみ野市



文化財だより

発行日 令和3年9月1日

発行者 ふじみ野市教育委員会

社会教育課文化財保護係

TEL 049-220-2088

FAX 049-261-5100

第3号

bunkazai@city.fujimino.saitama.jp



写真 左：安楽寺本尊の阿弥陀如来像（市指定文化財）
右：安楽寺本堂

市指定文化財の紹介

安楽寺の阿弥陀如来像

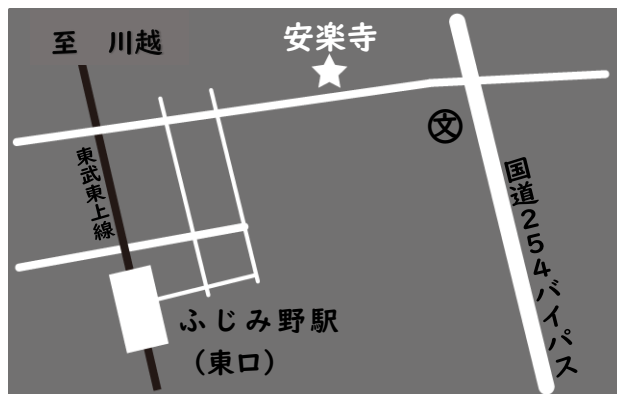
市内駒林に所在する安楽寺は、室町時代中期の寛正4（1463）年に円基法印という僧侶によって開かれたと伝わっています。江戸時代には、古谷本郷（現：川越市）の天台宗灌頂院の末寺であったと記録に残されています。

現在の本堂は、境内の記念碑によると昭和36（1961）年に檀家の篤志によって瓦葺きに改められたようです。

開山当初の本尊は、奈良時代の仏師春日の手による阿弥陀如来立像であったが、天保2（1831）年に焼失したと伝えられています。

現在の本尊は高さ36cmの阿弥陀如来坐像で当初の本尊が焼失した後、新たに迎えられたものようです。制作当初は漆塗りでしたが、後

世に金泥や彩色が施されました。昭和46年に行われた調査により、江戸時代初期につくられたものと考えられ、貴重な文化財として昭和47年6月1日に市指定文化財に指定しました。



●所在地 駒林866

※参拝されている方に配慮の上、見学して下さい。

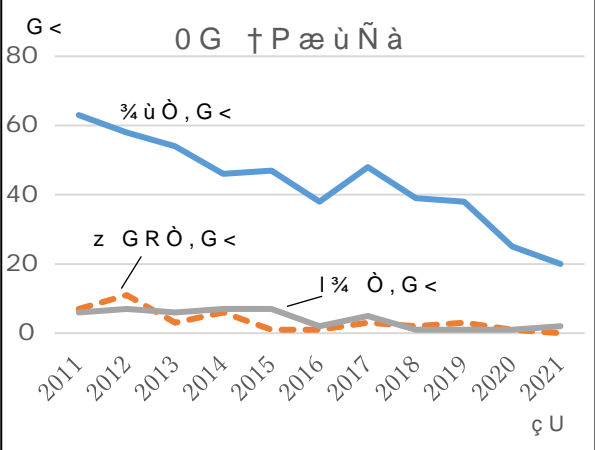
y x y : è ,, ` † P æ ù % y x y

市内には現在 45 か所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）があります。遺跡はかつて人々が生活した場所や痕跡が残されている場所ですが、遺跡内で開発などの工事を行う場合、文化財保護法では遺跡をまもるため、事前に届出することが決められています（文化財保護法第 93 条）。

現在、教育委員会では遺跡の試掘調査および本発掘調査を実施していますがその最新の調査の様子を紹介します。

市内遺跡の過去 10 年間の試掘・発掘調査件数の推移は左のグラフのとおりです。平成 30（2018）年度からは減少傾向にありましたが、令和 2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり調査件数は急激に減少しました。しかし令和 3 年度は試掘調査件数が急激な増加傾向にあります。すでに 4 月～7 月までの試掘調査件数は昨年度一年間（26 件）の半数以上になります。新型コロナウイルス感染症拡大の中でも市内の開発が堅

調であると考えられます。今年度実施した発掘調査のうち、注目される 2 遺跡についてご紹介します。



é • a } J 42 • <

ÿ ô . a } J 7 • <

